

平成27年度 特別会計 予算 (主な質疑)

発送を開始したが、その効果と予算立ては。効果は毎月約10万円の効果が出ています。今後も大きな成果が出るかと期待しています。

国民健康保険

ジェネリック薬の推進を

問 平成26年3月から後発医薬品(ジェネリック)の5利用差額通知書の

問 前年度と比べて、4000人増の24000人を設定しました。これは、

特定健診の充実

問 前年度より増額6になったが、目標の設定は。

町の行なう総合事業

問 事業開始は平成29年だが、3年間で地域支援体制をつくっていくことになるが、どのように進めていくのか。

国民健康保険加入者で対象となる方の34%に当たります。

の減額の背景は。
問 平成24年7月から、助成額の上限を5000円から3000円に引き下げたこと、条件を要介護度3以上にしたためと考えています。

条例の 制定 改正 (主な質疑)

一般職員の給与 給与引き下げ

問 今回人事院勧告により平均2.06%、最高4.49%の引き下げ。具体的には幾らか。アベノミクスでは給与を上げると言いながら、職員給与を下げるのはどういうことなのか。

介護保険条例 保険料の 引き下げを

問 さらに基金を取り崩し引き下げはできないのか。

問 前年度より158万5000円の増額になりました。

問 定まった路線ではなく、利用者の呼び出しに応じることで適宜ルートを変えて運行されるバス。

紙おむつ

問 紙おむつ助成事業費

問 介護保険にかかわる27事業所で説明会を開き、意見を聞くなど準備を始めていきます。認知症対応やボランティア等の経験を持った組織や団体など多様な地域資源の洗い出し、掘り起こしなどの確認作業も行ないます。地域包括支援センターの窓口体制の整備も必要です。

後期高齢者医療 特定診査の充実

問 健診委託料が増額7しているが。
問 特定診査の対象を、360人から500人にしたため委託料は増額しました。人間ドックは、助成額3を減らし、38人から45人にしました。

平成26年度 一般会計 補正予算 (主な質疑)

いきいきタクシー事業始まる！ 地域公共交通網形成計画の策定へ

いきいきタクシー事業 概要は

問 対象者と事業の概要は。

問 現行の重度心身障害者福祉タクシー事業の対象者と、75歳以上の高齢者を対象とします。しかし高齢者については、運転免許証所持者・介護保険法で要支援要介護認定を受けている方・住民税を課税されている方・生活保護受給者等を除く、おおむね12000人を対象とします。1人当たり、月に初乗り運賃分のタクシー券2枚を発行します。

問 今回は、国の地方創

生先行型の補助金を得て財源を確保できたが、次年度以降の財源と展開はどのように考えているのか。

問 基本的には、新たな国の補助金を活用しての実施を考えています。また、今事業は、地域公共交通網形成計画★等の位置づけも踏まえて、試行的に実施する面もあります。

問 新規事業に移行するに当たり、現行の重度心身障害者福祉タクシー事業の対象者に不利益はないのか。

問 不利益の少ない制度設計だと認識していまふりも含めて、確認・連動して進めていききたいと考

地域公共交通網形成計画 住民の意見は

クシー会社を町内業者に限定させていただく点と考えます。

問 実証実験的な要素を踏まえると、データ等の分析は非常に重要になる。方法や手立ては、どのように考えているのか。

問 地域公共交通網形成計画の策定とあわせて、いきいきタクシー事業の分析を進められていくと考えています。委託業者を選定する際は、その辺りも含めて、確認・連動して進めていききたいと考

えています。
問 近隣の東秩父村や、ときがわ町のデマンドバス8等との連携は。
問 今回の計画策定に当たり、東秩父村から連携のお話をいただいています。

問 地域公共交通網形成

問 計画の策定に当たり、住民の意見を取り入れる機会の設定は。
問 時期は未定ですが、話し合いの場を持つことは必要と考えています。



いきいきタクシー事業で暮らしやすいまちに

すたむちゃんのひとひらめき
★地域公共交通網形成計画とは
まちづくりと一体となった公共交通の再編と、民間事業者の運営に任せきりであった従来の枠組みから脱却し、再定義を図るもの。各自治体に策定義務が課せられました。

5 「ジェネリック医薬品」は、新薬の特許切れ後に販売される、新薬と同じ有効成分・効き目の、価格の安いお薬です。

6 前年度より476万4000円の増額になりました。

7 前年度より158万5000円の増額になりました。

8 定まった路線ではなく、利用者の呼び出しに応じることで適宜ルートを変えて運行されるバス。